TOPICS

新自由主義改革と日本経済

櫻谷勝美・野崎哲哉 編著

三重大学出版会／2007　208ページ　1,800円（税別）

年々仕事が忙しくなるのに収入は増えない、納める税金は増えているのに社会保障の給付は削られる、景気は良くなって国際優良企業とよばれる大手企業は史上空前の利益をあげているのに、労働者への分配率は増えない、「ワーキングプア」と呼ばれる人たちの増加。こんな現在の日本社会が抱える問題の根源を掘り下げたのが本書である。根源とは規制緩和や民営化を推進した市場重視の新自由主義思想であり、それが日本に波及した経緯とひきおこした現実の課題について学術的に説き明かした。各章では国内の金融、労働問題、社会保障、住宅、小売業、食料、環境といった分野別に、専門家が生活者の視点で課題を指摘している。内容は多くの国民が現実にかかわっている切実な問題が多いだけに、身近な生活の解説書としても読める。
日本の生活・労働環境の変化を新自由主義改革の影響としてとらえ、解決しなければならない課題を浮き彫りにしている。

循環型社会の構築と農業経営

日本農業経営学会 編

責任編集 石田正昭 ほか2名

農林統計協会／2007　361ページ　4,200円（税別）

自然と接し、自然の恵みを最大限に活用する農業経営も、実際には枯渇性資源に大きく依存した近代的技術を採用している。本書は、こうした現実のもとで、資源・エネルギー利用の節約や廃棄物最終処分量の減量をもたらすような環境負荷の小さい農業経営をいかに実現するか、という問題を技術と人間の両面から解明した学術書。国内外の農業経営や環境技術・環境問題の専門家たちが、有機性廃棄物の排出・再生・処理をめぐる地域レベルの取り組み、慣行農業の限界の克服をめざす経営実践の課題と展望、循環型社会の実現を可能にする経営行動と経営倫理、科学性・実践性・規範性を備えた農業経営研究のあり方などを議論している。日本農業経営学会3年間の学会シンポジウム報告と討議を一冊に集大成した院生必携書。

2008年1月～5月

三重大学の主な出来事

（三重大学広報誌『Flash News』より）

詳しい情報を知りたい方は、下記アドレスのページをご覧ください。
http://www.mie-u.ac.jp/home/flash/index.html

第55号
- 「記者と学長との懇談会」を開催
- 「人材養成の目的を明確化した大学院教育改革」が
文科省特別教育研究経費に採択
- 「三重大学伊賀研究拠点の形成事業」が
文科省の政策課題対応経費に採択
- 「地域・職域との連携による保健医療支援事業」が
文科省の政策課題対応経費に採択
- 「業務改善活動推進グループ」を設置
- 「アジア人財資金構想推進フォーラムin東海」に参加
- タイ・タマサート大学とポリコムで調印式
- 平成20年度キャンパス・インキュベータ入居企業決定
- 「新春三重大学・三重TLO産学官講演会・交流会」を開催
- 地域の知の拠点シンポジウム「今日からはじめる防災の取組」を開催
- 「平成19年度業務改善活動報告会」を開催

第56号
- 「第2回産学官連携セミナー2007in伊賀」
- 「知的財産活用シンポジウム～知的財産を活用できる人材の育成方法～」
- 「第1回三重大学・鈴鹿医療科学大学連携協議会」を開催
- 「合唱団」学長表彰
- 「グレーター・ナゴヤ・イニシアティブ・ユビキタスセミナーin津2008」
- 「附属小学校第34次公開研究会」を開催
- 2007年度後期PBLセミナー発表会「PBLカフェ」
（展示会「実践!学芸員への道」）を開催
- 「三重大学アカデミックフェア2008」を開催
- 「フィンランドの創造性教育」に関する講演会を開催
- 「第2回フォーラムin一身田」を開催

第57号
- 「医学部附属病院の病棟・診療棟新営工事の安全祈願祭」を挙行
- 大規模災害図上訓練を実施
- 「情報化シンポジウム・イン・三重」を開催
- 「三重大学PBL教育国際シンポジウム」を開催
- 平成19年度産学連携
「製造中核人材育成プログラム：技術者育成講座」報告
- 四日市コンビナート産学官連携による「第2回三重大学講演会」を開催
- 「第2回三重大学・和歌山大学連携協議会」を開催
- 「国際交流セミナー」を開催
- インターネット子ども交流
- 「平成19年度三重大学教育GP成果報告会」を開催
- 「個人情報保護に関する研修会」を開催
- 「エネルギー環境教育成果報告会」を開催
- 大学院生物資源学研究科長を選出

第58号
- 平成20年度入学式
- 学長選考日程
- 新「勢水丸」の起工式
- 第1回三重大学教員免許状更新講習実施委員会
- 新監事・学長補佐就任挨拶
- 文部科学省の平成20年度「大学教育の国際化加速プログラム
（海外先進教育研究実践支援［研究実践型］）」に採択
- 白衣授与式
- 留学生のための図書寄贈へ感謝状贈呈
- 国際キャリアアップ説明会
- 第1回国際シンポジウム
「近代社会化とコミュニケーションの技法—漢字文化圏の比較研究」

第59号
- 文部科学省の平成20年度
「女性研究者支援モデル育成」に採択
- 文部科学省の平成20年度
「都市エリア産学官連携促進事業（発展型）」に採択
- 医学部看護学科10周年記念式典
- 大学別認証評価
- 三重大学国際交流特別奨学生制度
- 「放置自転車」を再利用
- 「新自由主義改革と日本経済」を考えるシンポジウム
- コラボ産学官三重支部「認証式」
- 三重大学平成20年度「第1回地域貢献活動支援」
- 「古紙再生利用化プロジェクト」成果報告会
- 「インターンシップ説明会および事前研修会」

編集後記

法人化以降、大学にとって教育と研究に次ぐ第3の使命の社会連携が重要となっています。大学の姿も大きく変わっていくなか地域圏大学である本学では、特に地域との連携を重点項目として積極的に取り組んできました。本号では「地域とともに活きる」をテーマに野呂三重県知事と学長との対談を企画し、これまでの三重県と本学との連携状況や地域活動についてご意見を伺いました。本学の地域における活動の一端をご理解いただければ幸いです。